

ナント美術館名品展

珠玉のフランス近代絵画

会期▶11月3日(土)~12月16日(日)

午前10時~午後6時(入館は5時30分まで)

会場▶千秋美術館(アトリオン内)☎(836)7860

観覧料

一般 800円

高・大学生 600円

小・中学生 無料

千秋美術館 企画展

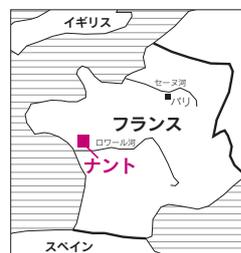
フランス西部の古都ナントにある“ナント美術館”は、ナポレオンによって創設された歴史の古い美術館です。

その優れたコレクションの中から、モネ、シャガール、ピカソを含む60点の作品を展示。ロマン主義から印象派運動、そしてモダンアートの出現に至るフランス近代絵画の流れをご紹介します。

背景の画像はナント美術館内の風景



ナント美術館
-1801年創設-



フランスの古都ナント

ナントは、「フランス歴史と芸術のまじりに登録される文化の香り高い古都。開館以来収集された同館のコレクションは、13世紀から現代までの西洋絵画の歴史を概観できる豊かなものです。」

時代を彩る珠玉の作品

この展覧会では、19世紀から20世紀にかけて活躍した画家の作品を選びすぐり展示します。

19世紀ロマン主義からは、神秘的なオリエントを題材としたルコント・デュ・ヌイの作品など。光のもたらす自然の変化を、明るい色と荒々しいタッチで表現し人気の高い印象派からは、シスレー、モネ、ルノワールの作品など。伝統的な様式にとらわれない自由な手法で、多彩に表現される20世紀のモダンアートからは、シャガール、カンディンスキー、ピカソなどの作品をご覧ください。

出品は47作家の60点。フランス近代絵画の流れに触れながら、時代を彩った珠玉の作品をご鑑賞ください。

イッポリート・フランドラ
「ライレンツェの女性」(1840年)



オーギュスト・ルノアール
「アネモネ」(1900年)



ルイ・ヴェルデン・ホーキンス
「暖炉」(1899年)



クロード・モネ「ヴェネチアの
ゴンドラ」(1908年)



ジャン・ジュール・アントワーヌ・ルコント・デュ・ヌイ
「白人奴隷」(1888年)



ヴァシリー・カンディンスキー
「黒のグリッド」(1922年)



講演会 「フランス近代絵画」
アカデミズムと前衛

11月23日(金・祝)午後2時
千秋美術館3階講堂

国際教養大学助教で美術史家の阿部邦子さんが講師です。聴講無料。先着50人。申し込みは、11月6日(火)午前9時30分から。☎(836)7860

ギャラリートーク

11月11日(日)午後2時
12月2日(日)午後2時

美術館学芸員が作品を解説します。展覧会の観覧料が必要です。直接千秋美術館展示室へどうぞ。

ティー・セミナー
「フレンチスタイル
クリスマスティーの楽しみ方」

12月5日(水)午後2時〜4時
秋田キャッスルホテル

日本紅茶協会認定ティーインストラクターの安部里美さんが講師です。参加費2千円。先着50人。申し込みは、11月20日(火)午前9時30分から。

☎(836)7860

千秋美術館位置図

中通二丁目アトリオン内
☎(836)7860



←4ページに観覧料が
お得な文化施設共通観覧券
の情報が載っています!